

かすかべ KASUKABE 議会だより

2016(平成28)年11月1日発行
発行・埼玉県春日部市議会
編集・広報広聴委員会
<http://www.kasukabe-shigikai.jp/>

第45号



平成28年度春日部市敬老会



平成28年10月1日現在
人 回 236,487
男 117,595
女 118,892
世帯数 103,353

ハマギク

主 な 内 容

- 主な議案の紹介…………… 2～4 ページ
- 審議結果…………… 4～5 ページ
- 一般質問…………… 6～15 ページ
- 傍聴して一言…………… 16 ページ
- 閉会中の委員会活動…………… 16 ページ

平成27年度

一般会計決算を認定

平成27年度一般会計決算を認定

平成27年度一般会計決算の主な内容は次のとおりです。

○主な内容

歳入決算額は741億7490万円、歳出決算額は711億1120万円となり、差引残額30億6369万円は、翌年度に繰り越されました。

○歳入の主なもの

歳入の根幹である市税は278億4971万円（一般会計の37・5パーセント）で、前年度比4億8811万円の減となっていますが、主要因として個人住民税の特別徴収（給与天引）を徹底する取り組みを実施した結果、平成28年度収入として取り扱われる額が増えたことや、法人市民税の税制改正による税率引き下げの影響によるものです。

次に、国からの補助金などである国庫支出金は123億7072万円（一般会計の16・7パーセント）で、前年度比15億6072万円の増となった主なものとして、新病院整備に伴う交付金が増えたことによるものです。

次に、国から地方財政の均衡を図るために交付される地方交付税は86億591万円（一般会計の11・6パーセント）で、前年度比2億9491万円の増となった要因は、新たに人口減少等特別対策事業費が創設されたことや、生活保護費、高齢者保健福祉費が増えたことに伴うものです。

○歳出の主なもの
歳出に占める割合の大きいものでは、社会福祉などに要する民生費は297億420万円（一般会計の41・8パーセント）で、社会福祉費や生

活保護費が増えたことにより、前年度比12億8219万円の増となりました。

次に、保健衛生や環境対策に要する衛生費は97億3680万円（一般会計の13・7パーセント）で、前年度比34億8974万円の増となった主な理由は、新病院整備出資金約30億円の増によるものです。次に、一般事務経費や災害対策などに要する総務費は80億7152万円（一般会計の11・4パーセント）で、総務管理費の減などにより、前年度比1億1770万円の減となりました。

そのほかに、土木費は74億3365万円（一般会計の10・5パーセント）。教育費は62億8068万円（一般会計の8・8パーセント）となりました。

【賛成多数で認定】

討論

市民負担軽減やサービス向上で子育ても老後も安心できる春日部市への転換を求め反対（日本共産党）

歳入では、地方交付税と臨時財政対策債の合計が26年度と比べて約2億円増加し、交付税は安定的に確保されています。市債残高は約708億円ですが、返済額が交付税算入される分を差し引くと約166億円です。一方、基金残高は総額約130億7000万円

で、5年前と比べて約1・4倍に増えています。実質的な借金は減少し、貯金は増加しています。市民の所得が減り、暮らしや営業がますます苦しくなっています。市の人口減少が続いている状況

の有効に活用し、市民負担の軽減やサービス向上に取り組み、暮らしや営業を応援して、子育ても老後も安心の春日部に転換することが重要です。歳出では、総務費において、民間に税金の電話催促業務を委託していますが、プライバシーの観点から問題です。職員数も少なく、サービス向上

や災害時対応からも正規職員

の確保は必要です。また、女性活躍できる職場とすることも重要です。

民生費では、重度心身障がい者に対する公的施設を早急に整備する必要があります。ふじ学園も早急に建て替え、障がいのある児童の療育ができるような拡充は当然です。

高齢者福祉では、77歳の祝い金の復活を求めます。児童福祉費では、子育て世代への経済的負担の軽減を図るべきです。

保健衛生費では、がん検診の無料化で早期発見、早期治療に取り組むべきです。また、小児救急医療の土日や休日の夜間診療は必要です。土木費では、引き続き道路の改修を進め、老朽化した橋梁には早急な対策が必要です。鉄道の連続立体交差事業は進展が感じられず、早急な東西通行の具体策を強く求めます。

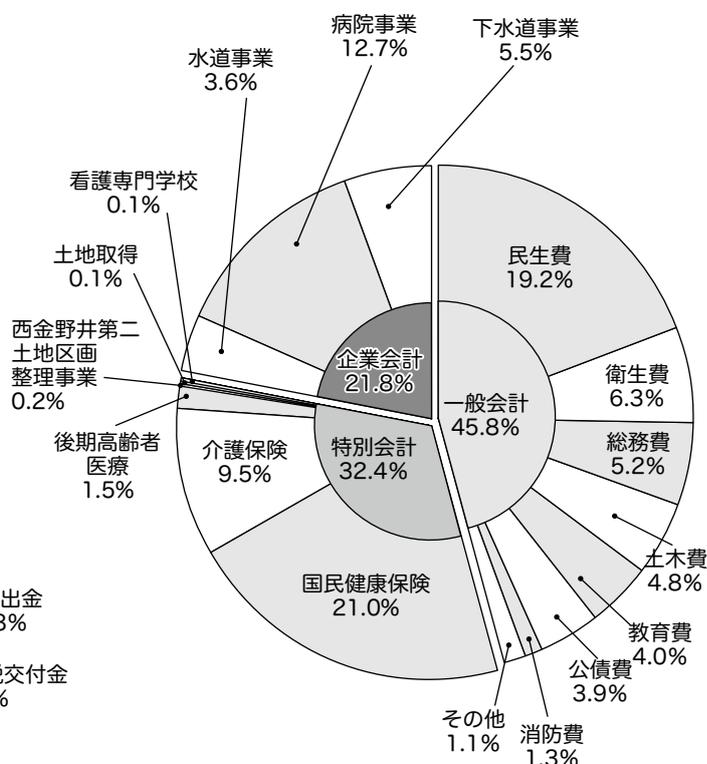
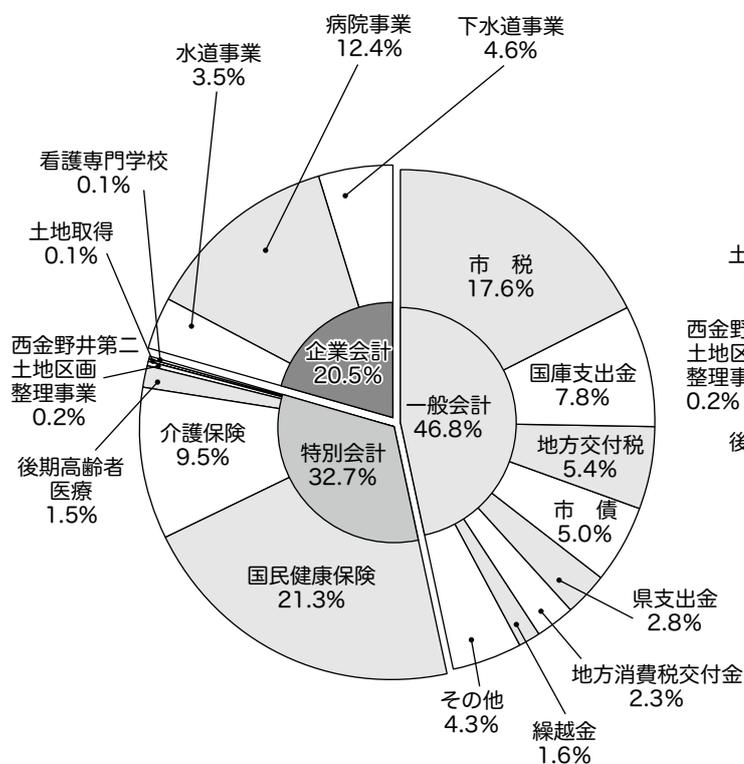
農林水産業費も商工費も、決算総額が非常に少ない状態が長く続いています。農家の後継者対策や、商工業の活性化対策、特に春日部駅東口地域への対策は重要な課題です。

4ページへ続く

平成27年度 会計別決算

歳入総額 1,586億3,615万円

歳出総額 1,550億9,439万円



一 般 会 計			
歳 入		歳 出	
市 税	278億4,971万円	民 生 費	297億 420万円
国庫支出金	123億7,072万円	衛 生 費	97億3,680万円
地方交付税	86億 591万円	総 務 費	80億7,152万円
市 債	79億 67万円	土 木 費	74億3,365万円
県支出金	44億2,516万円	教 育 費	62億8,068万円
地方消費税交付金	35億9,895万円	公 債 費	60億7,285万円
繰越金	25億5,229万円	消 防 費	20億1,171万円
そ の 他	68億7,149万円	そ の 他	17億9,979万円
歳入合計	741億7,490万円	歳出合計	711億1,120万円

特 別 会 計		
区 分	歳 入	歳 出
国民健康保険	338億3,227万円	325億5,439万円
介護保険	150億9,422万円	147億 318万円
後期高齢者医療	23億5,897万円	23億3,291万円
西金野井第二土地区画整理事業	2億6,411万円	2億5,339万円
土地取得	1億8,337万円	1億8,337万円
看護専門学校	1億5,327万円	1億5,046万円
合 計	518億8,622万円	501億7,770万円

企 業 会 計	区 分	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
	水 道 事 業	47億5,654万円	41億7,764万円	8億6,377万円	13億7,948万円
	病 院 事 業	76億7,449万円	76億1,288万円	119億7,862万円	120億5,042万円
	下 水 道 事 業	49億7,716万円	42億9,589万円	23億2,445万円	42億8,917万円

※計数については、それぞれ四捨五入をしているため、合計において一致しないものがあります。

2.ページからの続き

学校教育費では、不登校対策のため、子ども一人一人と向き合えるように教職員の増員や多忙化の解消などの総合的な対策が必要です。また、要望の多い洋式トイレの早期増設を求めます。他にも、就学援助の拡充も必要です。

社会教育は、公民館の有料化や市民プールの廃止など後退しています。社会教育の切り捨ては止めるよう求めます。

歳入歳出差し引き残額や基金の積み立ては、削減された福祉サービスをもとに戻し、市民の暮らしを支え、市民要望実現のために使うべきです。以上指摘して、反対します。

行政課題の解決に向けて効果的かつ効率的な予算執行に努めたものと評価し賛成（新政の会）

初めに、本決算は先行きが不透明な社会経済情勢の中、山積する行政課題の解決に向けて効果的かつ効率的な予算執行に努められたものと評価をしています。

まず、歳入の根幹をなす市税では、個人住民税において普通徴収から給与天引きである特別徴収への切り替えを推

進しました。小規模事業者にとつては事務量が増え、負担を感じている面がありますが、一層の周知を徹底することで、納税の公正公平とさらなる収納率向上を期待します。また、ふるさとかすかべ応援寄附金の充実により、寄附金が増額となりましたが、歳入全体では、依存財源の占める割合が増えており、樂觀できない財政状況が続いています。今後も、持続可能な財政基盤の確立のため、市税の収納対策のほか、さらなる自主財源の確保に期待しています。

次に、歳出の総務費において、市制施行10周年記念としてNHKのど自慢や記念式典の開催、市の歌の制定など、市民の皆さんとともに10周年を祝い、ふるさと春日部に対する愛着と誇りを共有することができたものと評価します。また、春日部市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定で、地域創生に向けた新たな取り組みにも大いに期待します。

民生費では、認定こども園が2園。事業所内保育所が1カ所開設されたことや、内牧立野、南桜井、中野の各放課後児童クラブの増設などで、子育て支援のさらなる充実が

図られたことを評価します。商工費では、市制施行10周年記念プレミアム付商品券の発行で、新たな消費を喚起し、市内商工業や地域経済の活性化に寄与したものと考えます。土木費では、中央通り線や武里内牧線、新病院周辺道路の整備に加え、大枝公園の整備などにより、地域の活性化や魅力あるまちづくりにつながるものと期待します。

教育費では、全ての小・中学校の校舍および体育館の耐震補強工事が完了したことで、平成27年度末の耐震化率が100パーセントとなったことを、大いに評価します。

以上のとおり、歳出については、市民生活に真に必要な事業を優先した効率的な予算執行がされたものと受け止めています。

反対討論では、繰越金を出したことに異を唱えています。したが、いつ起こるとも分らない大きな災害に備えるためにも、基金への積立などは必要ではないでしょうか。

最後に、今後も限られた財源を有効かつ効率的に活用し、より一層の市民サービスに努めるよう要望し、賛成討論とします。

9 月 定 例 会 審 議 結 果

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	市長提出議案名 () は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	新 風 会	公 明 党	日 本 共 産 党	社 会 民 主 党	民 進 党	無 所 属
議案第 65 号	下水道事業の設置等に関する条例の一部改正 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 66 号	公民館条例の一部改正 (教育環境)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 67 号	豊野環境衛生センター基幹的設備改良工事請負契約の締結 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 68 号	市立小・中学校普通教室等エアコン整備 P F I 事業契約の議決内容の一部変更 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 69 号	財産の取得(春日部消防署浜川戸分署災害対応特殊救急自動車及び高度救命処置用資機材) (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 70 号	平成27年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 71 号	平成27年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	市長提出議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	新 風 会	公 明 党	日 本 共 産 党	社 会 民 主 党	民 進 党	無 所 属
議案第 72 号	平成27年度一般会計決算認定 (各委員会)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 73 号	平成27年度国民健康保険特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 74 号	平成27年度後期高齢者医療特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 75 号	平成27年度介護保険特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 76 号	平成27年度土地取得特別会計決算認定 (総 務)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
議案第 77 号	平成27年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計決算認定 (建 設)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
議案第 78 号	平成27年度市立看護専門学校特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
議案第 79 号	平成27年度水道事業会計決算認定 (建 設)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 80 号	平成27年度病院事業会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
議案第 81 号	平成27年度下水道事業会計決算認定 (建 設)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 82 号	平成28年度一般会計補正予算(第2号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 83 号	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 84 号	平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 85 号	平成28年度介護保険特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 86 号	平成28年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号) (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 87 号	平成28年度市立看護専門学校特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対 -:退席)

議案番号	議員提出議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	新 風 会	公 明 党	日 本 共 産 党	社 会 民 主 党	民 進 党	無 所 属
議第 10 号議案	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 11 号議案	チーム学校推進法の早期制定を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	×	×	○	○
議第 12 号議案	無年金者対策の推進を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 13 号議案	給付型奨学金制度の導入・拡充による教育費負担の軽減を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	×
議第 14 号議案	要介護1・2の生活支援・通所支援の「保険外し」などをやめ、安心・安全の介護保険制度に充実することを求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	×	×
議第 15 号議案	地方自治を尊重し、沖縄米軍基地の建設を中止するよう求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	×	×
議第 16 号議案	原発再稼働に反対する意見書 (付託省略)	否 決	×	× ₋₁	×	○	○	×	×

一般質問

市民の声を市政に

議長は職責上（議事整理権）、監査委員は申し合わせにより、
一般質問を行っていません。

（文責は、各質問者）

一般質問に29人が登壇

若者のまちづくり への参画について



鈴木 一利
議員

先日行われました参議院議員選挙において、18歳、19歳の選挙権が初めて行使されました。今後、今まで以上に若者がまちづくりへ参画する機会を設けることは大切であり、若者からの意見の聴取や、その意見が出しやすくなる環境づくりが重要だと考えます。

そこで、本市における若者の意見聴取の現状を伺います。

また、本市のまちづくりへの参画状況と、中学生、高校生への参画についても伺います。

そして、なにより若者が、より市政に参画しやすいように、SNSなどを活用することについての考えを伺います。

○総合政策部長

本市では、地域社会への愛着とまちづくりへの興味を持っていただくことを目的に、「大学生政策提案コンテスト事業」を実施しており、若者ならではの優れた提案は、実際に事業化しています。

ほかに、市内の中学生、高校生を対象とした「中高生まちづくり会議」の開催を予定しており、ここでの検討結果を新たな総合振興計画の策定に活用していきます。

また、本年度から開始した「シテイセールスサポーター制度」は、SNSなどを通じて、個人目線から本市の魅力を発信していただく取り組みとなっております。

このほか

○春日部市小学校英語教育について

○子育て支援タクシーの導入について

ウイング・ハット 春日部周辺の整備と 芝のグラウンドについて



鬼丸 裕史
議員

平成5年に策定された「春日部市体育施設整備基本計画」は、ウイング・ハット春日部周辺を総合的なスポーツ振興拠点の場として、陸上競技場やテニスコートなどを整備する計画でした。しかし、長引く経済不況に伴う財政状況の悪化などにより、大きな進展

はなく現在に至っています。

そこで、武里南部地域の学校再編にあたり、谷原中学校は総合体育施設整備エリアの中心に位置しています。熊谷市では、廃校となった高校施設を有効活用した事例もあることから、谷原中学校の跡地利用も含めた計画の見直しが必要であると考えますが、市の考えを伺います。

○社会教育部長

谷原中学校閉校後の跡地利用については、武里南部地域学校再編計画において、地域の活動の場や活性化、発展のための有効な活用方法について協議するため、今後、関係部署による組織を立ち上げ、跡地利用の方向性を検討する予定となっております。

ウイング・ハット春日部周辺の総合体育施設整備計画区域に谷原中学校が隣接していることから、体育施設の整備と併せ、その活用方法を十分に検討し、関係部署と協議調整をしていきます。

このほか

○第2次春日部市総合振興計画の策定について

○クレヨンしんちゃんの活用について

○特色ある教育活動について

庄和北部地域の「学校再編は「小中一貫教育」ではなく「小中連携教育」で実施を



松本 浩一 議員

平成31年4月開設の予定で、庄和北部地域に施設一体型による義務教育学校を新設する準備が進められています。長い歴史と伝統のある3校を廃止して、新たな学校を新設することは重大であり、慎重に検討する必要があります。

9年間の小中一貫教育は、教育課程や学校運営に多くの課題があります。これまで通り、小学校と中学校が別々の併設型の学校とすることが重要です。

また、江戸川中学校の校舎、体育館、プールは老朽化しています。モデルとなるような特色ある小中一貫校を目指すのであれば、新築整備すべきですが、市の考えを伺います。

○学校教育部長

義務教育学校では、義務教育9年間を見通した教育の推進による学力向上や中一ギャップの解消、家庭・地域と一体となり、創意工夫した特色

ある教育活動を展開し、他の学校の模範となるような学校づくりを進めていきます。

○教育長

義務教育学校の理念を生かした9年間の教育課程を編成し、地域からの要望に応えた小中一貫校を目指します。また、施設については最小限の経費で最大限の教育効果や利点を生かせる整備を行い、モデルとなるような義務教育学校を目指せると考えています。

このほか

○来年3月に閉鎖する春日部市商工振興センターの跡地は、東口まちづくりの拠点に



庄和北部地域の小・中学校

都市計画道路 大場大枝線について



山崎 進 議員

武里駅南側に位置する107号踏切の渋滞解消を目的として、都市計画道路大場大枝線の整備が進められています。この大場大枝線が完成することによって、107号踏切

の渋滞解消はもとより、武里地区の東西の活性化。ひいては、春日部市の活性化に繋がります。さらに、交通安全も確保される事業であり、一日も早い整備が望まれています。ここに来て工事がストップしています。

そこで、この道路の概要と進捗状況について伺います。

また、この道路が完成しても107号踏切は閉鎖しないでいただきたいと思いますが、どのような調整をしているのか伺います。

○建設部長

事業主体の埼玉県によりまして、大場大枝線は、武里内牧線との交差箇所を起点として東武伊勢崎線を立体交差し

国道4号を終点とする、延長約940メートルの道路です。平成26年度末までに、五差

路西側区間の延長約346メートルの整備が完了し、現在は東側区間の用地買収や、鉄道付近の構造設計を実施しています。なお、用地の取得率は約91パーセントです。

県道野田岩槻線にある107号踏切については、東武鉄道と調整を行うとともに、課題の整理を行っているのとことです。

このほか

○学校再編について
○交通安全について

春日部市商工振興センター「アクシス」について



佐藤 一 議員

商工振興センター「アクシス」は、耐震診断を実施したところ耐震性能が不十分であることが判明したため、平成29年4月1日以降の利用を休止することとなりました。

そこで以下を伺います。
①閉館となった場合、他の施設で対応ができるのか。

②跡地の今後の活用について。
③市と商工会議所との検討経過について。

④市内経済活性化策について。

○環境経済部長

①近隣に市民文化会館、視聴覚センター、ふれあいキューブなどがあり、これらを利用いただきたいと思います。
②中心市街地に多くの人が集まり、賑わいや活性化を創出できるような跡地活用とすべく、検討を進めています。

③商工振興センターに関わる諸問題については、市内の内経済活性化委員会で協議調整を行い、商工会議所の正副会頭会議を窓口協議していただきます。そこで、商工会議所の移転先については市民文化会館1階の旧レストランですり合わせていくことで、一定の理解を得られたところです。

④大型店舗と周辺小売店の共存による回遊性の向上や、小売店が持つ独特の商品の物販に商工会議所も力を入れるなど、市内経済の活性化に取り組んでいくことが重要であると考えています。

このほか

○地方創生の中での金融機関との連携について
○空き家対策について

**春日部市立医療センター
開院後の状況について**



金子 進
議員

春日部市立病院が春日部市立医療センターとして新たに開院し、約2カ月が経過していますが、新たなシステムの運用と、入院および外来の運用システムの見直しによる現在の状況について、そして、今後の一層充実した医療提供のための取り組みを伺います。

また、立体駐車場の建設により、旧市立病院と比較して大幅に駐車台数を拡充したところですが、駐車場の利用状況について伺います。

○病院事務部長

新たな会計システムや電子カルテシステムは、おおむね円滑に運用されています。入院での運用では、患者支援センターやセキュリティシステムの稼働で、快適で安心な環境となっており、外来診療では、当初職員を配置して誘導していましたが、現在は通常の案内体制としています。

駐車場の利用実績は、7月

の平均で平日1日523台、休日185台となっております。今後も円滑な運用に努めます。

○病院事業管理者

今後の医療の充実では、将来の地域周産期センターの指定を目指し、内容の充実を図り、補完的役割を担う新生児センターの指定に向けて検討を進めます。がん診療では、さらに総合的な治療体制の確立を進めたいと考えています。

このほか

○東埼玉道路について
○介護保険制度の新しい総合事業について
○職員の介護休暇について

**春日部駅付近連続立体交差事業
3つの課題の進展を問う**



古沢 耕作
議員

本市が最重要課題の一つとして取り組む春日部駅付近の高架化事業について、市は来年の平成29年度を事業主体の埼玉県が国から事業認可を受ける目標年度としています。

その目標年度は、もう約半年後に迫っているわけですが、目に見える形での進展が、な

**高齢者の生きがい
づくりについて**



小久保博史
議員

高齢者の生きがいづくりのきっかけとして実施されている「ふれあい大学・大学院」ですが、入学をしようとする方々に対して、魅力があり興味を引くようなカリキュラムなどの取り組みは大切です。

しかし、中にはふれあい大学への入学に踏み込めない方もいるかと思えます。

そこで、一般の方も参加ができる公開講座を実施しているようですが、それをより広くPRするためにも、例えばインターネットを利用した「春日部動画チャンネル」を活用して、自宅で自由な時間に公開講座を見ることができるよう取り組みも効果があると思います。市での考えを伺います。

○福祉部長

ふれあい大学の公開講座については、広報やポスターなどで周知を行っていますが、残念ながら参加人数が少ない

状況です。今後、さらに多くの方にご参加いただき、ふれあい大学に興味を持っていただけるように、公開講座の回数やPRの方法も検討していきたいと考えています。

議員ご提案の春日部動画チャンネルの活用については、さまざまな事情で公開講座に参加できない方や、ふれあい大学をあまりご存じでない方への周知方法として有効と考えており、今後の活用について研究をしていきたいと考えています。

このほか

○空き家対策について

かすかべ 動画 チャンネル

春日部市のイベントや市を紹介する動画を配信中!

<https://www.youtube.com/user/KasukabeCity>
かすかべ動画チャンネルのインターネットアドレス

線状降水帯禍から1年



水沼日出夫
議員

平成27年9月9日から10日の関東・東北豪雨は、時間最大雨量48・5ミリメートル、総雨量338ミリメートルという、未曾有の大雨をもたらしました。その後、その名のとおり広範囲に爪痕を残した線状降水帯禍からの教訓で、これまでの局地的で短時間のゲリラ豪雨に合わせ、広域に長時間にわたって降る大雨までも想定する浸水対策が問われるようになったことについて、本市の認識を伺います。

また、長時間豪雨も想定した家屋等への浸水に備える直前の対策および長期的、計画的治水対策について伺います。

○建設部長

本市は、河川勾配も穏やかで、降った雨がすぐに流下できないことや、都市化の進行により、田畑の保水・遊水機能が低下しています。計画降雨を超える雨に対して、浸水被害の軽減を図る対策が求め

られており、河川や水路、下水道の整備を促進するとともに調節池の検討などの総合的な治水対策を計画的に取り組むことが必要と考えています。

○市長公室長

被害軽減の取り組みとして、なるべく不要不急の外出を避け、まずは屋内で待避し、大雨・洪水警報が発令される場合でも、まずは自宅などの2階以上への垂直避難をしていただくなどの安全な居場所の確保をお願いします。

このほか

○県道沿いの交通安全、防犯街灯について



谷原親水広場と三角貯水池間を流れる安之堀川

地域包括支援センターについて



吉田 剛
議員

現代社会においては、高齢化が急速に進み、内閣府の発表によると、平成27年10月1日現在、65歳以上の高齢者の割合である高齢化率は26・7パーセントとなっています。人口全体の4人に1人以上は65歳以上の高齢者ということですが、そのような状況下では、高齢者が住み慣れた自宅や地域で生活できるように、必要な介護サービスや保健福祉サービス、その他、日常生活支援などの相談に応じてもらえるような窓口が必要不可欠です。高齢者にとつて地域における介護相談の最初の窓口となる地域包括支援センターの概要、および今後の役割について伺います。

○健康保険部長

地域包括支援センターは、地域住民の保健医療の向上、および福祉の増進を包括的に支援することを目的に設置したもので、高齢者の多種多様

な相談にワンストップで対応できるように専門職を配置しています。業務は、要支援1・2の方の介護予防プランの策定を行うケアマネジメント業務や高齢者に関するさまざまな相談に応じ、適切なサービスや制度につなげる総合相談支援業務などを行っています。

このほか

○春日部駅西口エリアの冠水対策について

今後市と一体となって、地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みを推進する中、核的な役割を担う機関として、機能の強化を図っていきます。

本庁舎整備審議会
答申について



井上 英治
議員

今年5月に出された答申後の予定と、文化会館敷地（東口）と旧市立病院敷地（西口）を移転先比較し、西口優位とした8課題の内容に疑問が残るので根拠を伺います。①他市の例では、防災施設との距離差を問題にしていないが本市ではどれ程か。②東口では

窓口の低層階設置や利用客が重なることでの渋滞の発生、代替施設が必要などであるが、問題ないのでは。③点字プロックは問題にするほどの金額なのか。設置費はどれくらいか。④東口は軟弱地盤というが、今まで液状化が起きたのか。むしろ水害対策として海抜の方が問題ではないかと思

○選挙管財担当部長

本庁舎整備審議会では、客観的データを基に、文化会館敷地と旧市立病院敷地の2敷地を相対的に比較検証しています。①消防本部から旧市立病院敷地までは約1800メートル、文化会館敷地までは約2780メートルです。②より利便性の高い窓口が設置できる敷地を検証するため、1階への設置の比較など、相対的にされたものです。③点字プロックの設置費用は、試算で約240万円です。④敷地の安全性は、春日部市洪水ハザードマップにおいて、利根川エリア、荒川エリアともに危険度が同等であることを確認しています。

このほか

○春日部から都心へのアクセス向上について

このほか

避難訓練コンサートについて



栗原 信司
議員

かつて災害対策として、夜間避難訓練、ペット同行避難訓練、プールを使った着衣避難訓練などを提案し、順次実施していただきました。

市民文化会館の大きなイベントでは、約1000人のお客さまが入場しています。いざという時に迅速に避難ができるようになるためには、日頃の訓練が重要であり、施設管理者と利用者が連携した訓練が必要です。

そこで、コンサート公演の最中に、災害が発生したことを想定して実施する避難訓練コンサートの実施を提案しますが、市の考えを伺います。

○学校教育部長

避難訓練は、災害対策等のマニュアルやガイドラインの実地検証という目的を担っています。訓練を通じ、机上で気付けなかった問題が見えることで、マニュアルやガイドラインのさらなる充実を図る

とともに、職員および施設利用者の避難への意識を高められることから、大きな備えの一つであると考えています。

避難訓練コンサートは、災害対策における大切な備えの一つであることから、他市の取り組みについて情報収集を行い、調査研究していきます。

このほか

○解体の予定される公共施設を活用した訓練について
○ハンドル形電動車いす事故防止策について
○ハンドル形電動車いす・電動アシスト付き自転車購入補助

こども医療費における接骨院、整骨院での窓口払い廃止について



中川 朗
議員

こども医療費は、市内医療機関での窓口払いを廃止し、医療費の助成対象年齢も中学校修了前までに拡充されました。しかし、接骨院や整骨院については、窓口払いのままとなっております。

年間3000件を超える利用件数があることや、本市の

重度心身障害者医療費助成制度ですでに実施していることさらには、他市での実施事例もあることから、受給者世帯の負担軽減のために、接骨院や整骨院での窓口払いの廃止を検討して欲しいと考えますが、市の考えを伺います。

○子育て支援担当部長

こども医療費における接骨院などの窓口払いの廃止については、重度心身障害者医療費助成制度の事務と支払い方法が統一されることにより、市民の利便性向上につながることを期待できます。

助

しかし、接骨院などにおける医療費の審査方法は他の医療機関と異なることから、架空請求や不正請求の可能性が高くなる懸念が、適正な医療費給付のための審査事務の煩雑化が予想されます。このことから、不正防止策の国の動向を見極めつつ、審査方法や事務の取り扱いなどを検討するとともに、関係団体との協議を進めていきます。

このほか

○公共施設マネジメント基本計画について
○都市農業の振興について
○春日部駅西口の交通環境について

公立図書館は市直営で責任ある運営を



坂巻 勝則
議員

本市は中央図書館、武里図書館、庄和図書館を有しており、武里図書館と庄和図書館は既に指定管理者制度を導入し、運営を民間委託しています。市は、中央図書館が市直営の統括館として、指定管理者2館の指導監督を行うので、公立図書館としての役割を果たせるとしてきました。

しかし、サービス向上と経費削減を目的に来年4月から中央図書館まで指定管理者制度へ移行しようとしています。指定管理者制度は、長期的視野に立った運営が必要な図書館にはなじみません。また、利益を目的とする民間企業を指定管理者にすること自体に矛盾があり、図書館で利益を得ようとするれば、人件費を抑えるしかなく、市が自ら「ワーキングプア」を作り出すことにはなりません。中央図書館の指定管理者制度への移行は中止し、武里図書館と庄

和図書館も直営に戻すべきですが、市の考えを伺います。

○社会教育部長

武里図書館、庄和図書館は、効率的で効果的な運営が実証されています。図書館の根幹業務はこれまでどおり市が行い、学校との連携などで、本市独自のよりよい図書館サービスが期待できると考えます。

○市長

中央図書館への指定管理者制度の導入中止、武里図書館と庄和図書館を直営に戻すことは考えていません。

このほか

○春バスの更なる充実を



春日部市立中央図書館

**小・中学校への洋式トイレ
整備計画について**



武 幹也
議員

市内小・中学校にはエアコンが整備され、児童生徒、保護者の皆さんも喜ばれていますが、学校内のトイレについては問題にしています。

家庭のトイレは洋式化が進み、和式トイレに慣れていない子どもがほとんどです。市内の市立小・中学校の洋式トイレ数は極端に少ないため、学校で和式トイレを使用しない子どもが増加しています。そこで、これまで行ってきた洋式トイレ設置の取り組みを伺います。

また、今後は洋式トイレの整備計画を作成し、計画的に洋式化を進めるべきと考えますが、市の考えを伺います。

○学校教育部長

これまで、和式便器の修繕や施設改築の機会に洋式化を実施してきました。また、体育館では、国の交付金の活用による改修工事や耐震補強工事などに併せた改修工事によ

り、洋式化を実施してきました。これにより、平成27年度末には、洋式化率が26・3パーセントに向上しています。

学校施設の多くは、築後30年以上経過しており、老朽化による多くの課題があるため、「学校施設の長寿命化計画」を策定し、学校施設全体の整備方針を踏まえながら取り組むことが、最も効果的と考えられています。

このほか

○各種検診について
○自治会ごとに配置する地域(地区)担当職員制度について



洋式化された豊春小学校体育館のトイレ

**子どもの貧困対策で
学校給食費無料化など
父母負担軽減を**



並木 敏恵
議員

子どもの貧困が深刻です。厚生労働省の調査では、1985年に10・9パーセントだった「子どもの貧困率」は、2012年には16・3パーセントに増加しています。

2013年に制定された「子どもの貧困対策推進法」が目指す「子供の将来が、その生まれ育った環境によって左右されることのない社会の実現のために、全ての子どもへの貧困を見逃さないように対策を強化するべきです。

そこで、就学援助の現状と、学校における子どもの貧困の把握はどのようになっているでしょうか。

また、就学援助の引き上げや給食費無料化など、父母負担軽減が必要ですが、教育委員会の見解を伺います。

○学務指導担当部長

平成28年8月1日現在、小・中学校を合わせた児童生徒全体における就学援助の認定

割合は16・7パーセントです。子どもの貧困に特化した調査は実施していませんが、就学援助制度の周知を行うとともに、教職員が児童生徒一人一人の状態をつぶさに見届け、家庭や関係機関と連携しながら対応しています。

○教育長

全ての子どもたちが等しく教育を受けられるよう支援していくことは必要であり、就学援助制度を活用して、経済的支援に努めていきます。

このほか

○武里南保育所は直営にもどして充実を

**通学路となっている春日部
女子高北側道路の拡幅を**



武彦 卯月
議員

春日部女子高等学校北側の市道1-25号線は、粕壁小学校の通学路ですが、幅員が3・8から4・6メートルしかなく、バス路線でもあり、大変危険です。粕壁小PTA

からも安全対策を求める要望が出されています。市は、危険性をどう認識し、拡幅をど

のように対応しようと考えているのか。

また、通学路の安全について教育長の考えを伺います。

なお、県は、用地売却に協力的な考えです。女子高の敷地を買収して拡幅すべきですが、市長の考えを伺います。

○建設部長

女子高北側道路は、さほど交通量の多くない路線で、車と路線バスのすれ違いは前後の幅員の広い場所で回避し、交互通行していると認識しています。道路幅員は、「開発事業の手続及び基準に関する条例」に基づき、女子高の建て替えなどの際に用地を確保し、整備していく予定です。

○教育長

児童や生徒が安心して充実した学校生活を送るには、通学時の安心安全の確保は極めて重要です。関係機関と連携し、安全な通学路の確保、交通安全指導の充実にも努めます。

○市長

条例に基づき、県から用地の確保を進める必要がありますが、現状では難しいものと考えています。

このほか

○子どもから高齢者まで利用できる市民プールの建設を

春日部駅中央第1・第2自転車
駐車場のバリアフリー化を



今尾 安徳
議員

この自転車駐車場は、中心市街地の中心部分にあり、無料でもあるため利用者が大変多く、市にとって重要な施設と考えます。

しかし、入口のスロープが大変急で、高齢者の方などが出し入れの際に苦勞をしてい

る状況です。自転車は倒れそうになる危険もあります。

以前にも一般質問で取り上げましたが、進展がないまま数年が過ぎています。

○市民生活部長

第1駐車場横の公園スロープの活用や、第2駐車場横の歩行者用の橋からの自転車の乗り入れができないのならば、少なくともシルバートーンなどを設けて、一部でも改修すべきと思いますが、市としての考えを伺います。

第1・第2自転車駐車場のシルバートーンの設置については、利用形態や利用年齢層などを調査するほか、高齢者

が利用しやすいスロープの在り方、スロープを設置する場所などについて、研究する必要があると考えていますが、高齢者や障がいのある方に対しては、無料で段差がなく、春日部駅西口までの所要時間も同程度で、利用者が比較

少ない内谷陸橋下の春日部駅南自転車駐車場をご案内していきたく考えています。

また、有料ではありませんが、併せて春日部駅西口自転車駐車場についてもご案内していきます。

このほか

○浸水・冠水被害の軽減を

カラス対策について



河井 美久
議員

ここ数年、東京などの大都市をはじめ、全国各地でカラスによる被害が拡大しており、春日部市においても例外ではありません。

最近では、ごみの散乱や農業被害だけでなく、カラスに襲われそうになったというこ

とも多くなっており、威嚇や攻撃による不安、また鳴き声による騒音やふんなどにより、生活環境が悪化し、多くの市民が大変困っている状況です。

現在、どのような対策を講じているか。また、今後の対策について伺います。

○環境経済部長

市では、カラスによる集積所のごみの散乱防止対策として、防鳥ネットの貸与により被害の防止を図っています。

また、家庭からごみを排出する際には、カラスのえさとなる生ごみを袋から取り出すことができないよう、前日や夜間の排出は避けるなど、排出ルールを守っていただくことを周知しています。繁殖中のカラスについては、巣が作られた樹木、電柱、鉄塔などの管理者に撤去をお願いしています。

今後の対策として、まずは生ごみや残飯を減らすこと、さらにはごみの減量化、資源化に積極的に取り組むたいと考えています。また、カラスによる被害は、他の自治体も苦慮している課題であることから、引き続き情報収集に努め、対策事例を調査し、有効な対策について研究していきたいと考えています。

神明貝塚の調査の進捗と
今後について



斉藤 義則
議員

神明貝塚の現地説明会に参加して、この貝塚が郷土春日部の財産であることを市民の方々に理解していただくことで、未来に伝え残すべき貴重な本市の財産になるものと改めて確信したところです。

今回の発掘調査の終了をもって、国史跡化に向けた手続きに移行しますが、神明貝塚の発掘の進捗状況と文化的意義、および今後の手続について伺います。

○社会教育部長

今年度は、貝塚北西部の実態を調査し、地表下30センチメートルから3基の墓を確認し、土偶、縄文人骨3体、ヒスイの玉を発掘しています。現在は、墓をさらに掘り下げ、約3200年前の住居跡2件を確認しています。

文化遺産の意義としては、貝塚と縄文のムラがドーナツ状に広がっている点、時間の経過と共にムラが移動してい

る点、縄文人自らが貝殻や土を埋め戻す土木行為を繰り返している点、ムラの一部に墓がある点、住まいの内外で灰づくりが行われている点などの特徴が挙げられます。

国史跡化への今後の手続として、文化庁からは総括報告書の提出が求められています。

報告書作成後は、将来にわたって保存する史跡範囲の確定、地権者の同意形成、指定申請事務にあたる「意見具申」の進達を行っていきます。

このほか

○改正道路交通法施行後について



神明貝塚で発掘された人骨

公共施設マネジメントについて



栄 寛美 議員

現在の社会基盤である公共施設の多くが、本市では昭和40年代、50年代に一気に整備が進められたため、今後耐用年数を超えるものや改修・更新が必要となる施設、インフラが急増する見通しです。本市では、平成27年3月に公共施設白書、公共施設等総合管理計画が策定されています。

そこで、以下伺います。

①公共施設白書におけるパターン別の評価と優先順位などの今後の具体的な対応。

②商工振興センターは、例えば建て替える場合などは、複合化などの検討も必要と考えますが、跡地活用や今後の方向性について、どのような検討がされているのか。

○総合政策部長

①公共施設白書では、安全性や機能性などを客観的に判断し、一定の調査や条件に基づき6段階で施設の状態や特徴を示しました。特にパターン

春日部市中央1丁目地区市街地再開発事業について



岩谷 一弘 議員

近年、拠点性、集客性を失いつつある中心市街地において、鉄道高架事業の必要性とともに商業機能などの都市集積などが課題に挙げられています。このような中で、本年「春日部市中央1丁目地区市街地再開発準備組合」が、来

年秋の都市計画決定を目指すという報道がありました。まさに本市の計画に合致した事業だと感じますがこの計画への本市の考え方、支援などについて質問します。

○鉄道高架担当部長

総合振興計画をはじめとする各計画と整合しており、公共性に資する事業であることから、協力していきたいと考えています。

具体的には①事業促進を図るため必要な都市全体の立場からの助言や援助を行う②都市計画を定めるための手続や関係機関との協議を行う③必要な道路の付替えや用地交換



平成29年4月1日より休所となる商工振興センター

等の手続を行う④国、県、市からの交付金、補助金を活用するための計画作成や手続等を行うことを考えています。

○市長

本市では、中心市街地まちづくり計画を作成し、実現に向けて取り組んでいます。中央1丁目地区市街地再開発事業は、この計画に位置づけられる重要な事業であることから、今後も、その実現に向けて協力していきたいと考えています。

このほか

○子どもを守れ！通学路の危険除去について

春日部市商工振興センター廃館に伴う進捗状況について



海老原光男 議員

商工振興センターは、平成29年3月末日をもって休所となります。

また、平成28年度一般会計補正予算において、商工振興センターの建物の解体設計等を実施するための費用が計上されています。

跡地活用の方向性は、市の

見解として、市と市民の共通の貴重な財産であることが前提であると示されました。このことは私も同様であると考えます。

そこで、確認ですが、平成28年7月8日に市長から春日部商工会議所会頭あてに提示されました「石川良三春日部市長の基本的な考え方」の中で、その2項目目に、「一部に、市は土地を売却し、マンションにするとの噂も出ています。決まっていますが、私の責任において、決してそのようなことはしない。」という文言があります。

用途目的は別として、土地は売却しないとの認識で良いのか伺います。

○環境経済部長

商工振興センターの跡地活用については、出来るだけ人の集まる活用方法として、どのような活用が良いのか、どのような施設が良いのかの検討を進めています。

その中で、商工振興センターの機能や市の施設を一部入れるのか、他の機能を入れるのか、さまざまな検討を進めています。

このほか

○障害者雇用促進法について

消防本部における女性 消防史員の活躍推進 への取り組みについて



荒木 洋美
議員

昨年7月、総務省消防庁から消防本部における女性消防史員の活躍推進の為の取り組みについて通知されました。消防史員とは消防学校で研修した職員をいいます。

通知内容は、①女性消防史員の計画的な増員、②適材適所を原則とした女性消防史員の職域拡大、③ライフステージに応じたさまざまな配慮のほか組織意識改革や女性施設の改善などです。

本市では女性消防史員は管理業務で1名ですが、越谷消防本部では12名、草加八潮消防局では21名の女性消防史員が活躍していると聞きしました。

そこで、本市としての女性消防史員が活躍するための取り組みについて伺います。

○消防長

まずは幹部職員の意識改革、消防業務を継続するための支援などの職場環境づくりが必

要と考えています。さらに、仮眠室や浴室をはじめとする女性専用施設の整備についても調査研究していきます。

また、子どもや高齢者、災害時の要支援者など、多様な住民へのサービスの向上を目的とした女性消防史員の活躍に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

このほか

○食品ロス削減に向けての取り組みについて

○空き家等の対策について

○B型肝炎ワクチンの定期接種について

小学校段階における プログラミング教育について



矢島 章好
議員

文部科学省から今年4月19日、2020年から小学校での「プログラミング教育の必修化を検討する」との発表がありました。プログラミング教育の必修化を推進する背景として、WebエンジニアをはじめとするIT人材の不足があり、過日、経済産業省が

発表した、IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果によると、2020年に36・9万人、2030年には78・9万人のIT人材が不足すると予測されています。2020年度の次期学習指導要領の改訂にむけ、プログラミング教育の取り組みを本市ではどのように進めていくのか伺います。

○学務指導担当部長

プログラミング教育の取り組みの進め方については、国や県の動向を注視しながら、他市町村での実践例を収集し、各小学校が見通しを持ってプログラミング教育の計画・実施ができるよう支援していきます。また、視聴覚センターでは、小学生ロボットコンテストを毎年実施しており、今年から新たに子どもが自ら組んだプログラムで車型ロボットを動かす体験活動も行っています。今後も更なる充実に努めながら、子どもたちのプログラミング的思考の育成を図っていきます。

このほか

○危険を予測し自らの安全を守る交通安全教育について

○市税等収納率向上に向けた取り組みについて

春日部市における 防災訓練について



石川 友和
議員

自主防災組織が災害時にあって、防災活動を迅速かつ、効果的に行うためには、普段から防災訓練を定期的に実施し、これから起こり得る災害に備えることが大切であると思います。そこで自主防災組織においては、現在どのような防災訓練を行っているのか、その内容について伺います。

また、自主防災訓練に参加されている方は年々増えているようですが、全体の人数からすると一部の方だけになり、参加者が毎回同じような気がします。参加者を増やすためには、自治会以外の人を巻き込むことが重要かと思えます。市の考えについて伺います。

○市長公室長

現在、自主防災訓練は、地震体験車「ゆらりん」の地震体験をはじめ、避難訓練、消火訓練、煙体験訓練など、30種類をメニュー化しており、

地域の实情に応じた訓練内容を選定いただいています。

参加者を増やすためには、全ての自治会で自主防災組織を設立することが第一歩であると考えています。そこで、未組織の自治会を対象に地区別防災訓練を実施し、設立の契機にしていただきたいと思います。

さらに、自主防災組織と相談し、地域の实情に合わせて参加者の増加策について、協議・調整していきたいと考えています。

このほか

○国際交流の盛んな春日部市を目指して



防災訓練の様子

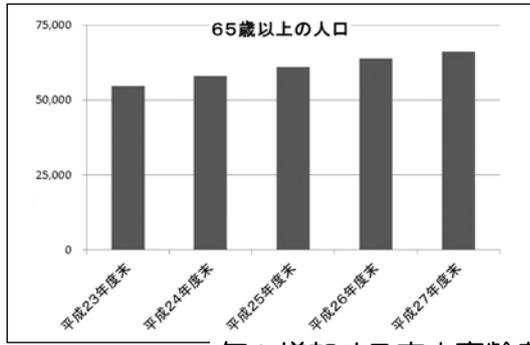
**医療介護の2025年
問題について**



蛭間 靖造
議員

日本は、急速に高齢化が進んでおり、2025年問題といわれる、団塊の世代が75歳に達することによる社会保障費の急増が懸念されています。高齢化率が7パーセントを超えると高齢化社会、14パーセントを超えると高齢社会といわれていますが、日本は高齢化率が21パーセントを超え、超高齢社会であることから、以下を伺います。

- ①本市における高齢化率の推移について
 - ②高齢者1人を支える生産年齢人口の推移について
 - ③医療と介護に関する2025年問題に対する行政の対応について
- 健康保険部長
- ①本市の高齢化率の推移は、平成17年度末16・3パーセント、平成22年度末21・7パーセント、平成27年度末28・0パーセントです。②内閣府の高齢社会白書によると、昭和



年々増加する市内高齢者人口

40年は10・8人で高齢者1人を支えていましたが、平成27年には2・3人で、平成37年には1・9人で支えることになるかと予測されています。③本市では、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けることができるよう在宅医療・介護連携推進事業に取り組んでおり、引き続き、医療と介護を包括的に提供する体制づくりを進めていきます。

このほか

- 内牧公園に野外ステージの設置を
- 歩道の歩行に関する安全対策について

**春日部駅東西自由通路の建設と
西口トイレの多機能化を**



大野とし子
議員

今年4月より障害者差別解消法が施行されました。目的には「障害を理由とする差別の解消を推進し、全ての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資する」とあり、第3条では自治体の責務を「必要な施策を策定し、これを実施しなければならぬ」と、第5条では「社会的障壁の除去について必要かつ合理的な配慮に関する環境の整備をする」とあります。

この観点に立てば、東西通行に不便を感じている障がい者のために、東西自由通路の建設は当然と考えます。あわせて西口トイレの多機能化も障がい者の皆さんの願いです。この先に連続立体交差事業があったとしても10年以上このままにするわけにはいきませ

設、西口トイレ多機能化について市の考えを伺います。

○鉄道高架担当部長

中心市街地が抱える課題を抜本的に改善するには、連続立体交差事業と一体となった整備が不可欠であるため、早期事業着手を最優先に取り組んでいきたいと考えています。

○環境経済部長

西口公衆トイレ多機能化の必要性は認識していますが、改修して間もないため、早急な建て替えは考えていません。

このほか

- 放課後児童クラブ施設の改修、増設で、遊びと生活の場の保障を

**児童生徒へのネット(スマホ)
利用教育について**



木村 圭一
議員

私たちを取り巻くネット環境は、ICT技術の発展により、生活の利便性も確実に向上していますが、利用を間違えると取り返しがつかない事にもつながります。最近では、位置情報を利用した人気歩きスマホゲームの危険性が指摘されています。そこで、隠れたネットの危険性から子どもたちを守るために、インターネットに関する教育の拡充はできないものか。例えば、さまざまな事例を学ぶという点では、総務省で出されている「インターネットトラブル事例集」の活用や、もつと分かりやすく改良した春日部版のようなものを作成して授業で活用してみてもどうか、市の考えを伺います。

○学務指導担当部長

「インターネットトラブル事例集」の作成について、過去に起きた事例を参考に情報共有し、同じ失敗を繰り返さないための資料とすることは、大変有効かつ意義深いものであると考えます。本市でも、春日部市青少年健全育成審議会が実施したアンケート結果からネットトラブル集を作成しており、総務省の「インターネットトラブル事例集」とともに、児童生徒のネットトラブル防止に向けて有効活用していきたいと考えています。

このほか

- 児童生徒への「がん教育」について

○障がい者へのサポート「あいサポート運動」推進について

傍聴して一言

英語教育に力を入れていることがよくわかりました。子育て支援タクシーも活用できるよう期待します。若者の意見が聞こえる社会になるといいですね。

女性・67歳

初めて傍聴させていただきました。厳かな場内で貴重な体験をさせていただきました。同年代の友達にも本日の話をし、また友達を誘い、傍聴したいと思います。

女性・53歳

初めての傍聴でしたが、もっと市民が傍聴する機会があると、特定の方からではなく、^{かつた}関連な意見を届けることができるのかなと感じました。

女性・35歳

まちづくりについては、スポーツを通じたまちづくりの質問や答弁が欲しかった。現状報告だけでは議会ではない。委員会で行うべきではないか。

男性・81歳

※割愛させていただいた部分もあります。

今定例会傍聴状況

月日	傍聴者数	主な日程
8/23	2	上程・説明
26	3	質 疑
29	2	質 疑
30	1	質 疑
31	1	質 疑
9/2	0	常任委員会
5	0	常任委員会
6	0	特別委員会
7	52	一般質問
8	25	一般質問
9	17	一般質問
13	37	一般質問
14	4	一般質問
16	0	討論・採決
合計	144	

政務活動費 収支報告一覧の公開

政務活動費は、地方議会議員の調査・研究・その他の活動に資するために交付されています。この、政務活動費の収支報告一覧については、市議会ホームページで公開しています。また、議会事務局のほか、市役所本庁舎および庄和総合支所の市政情報室でも閲覧できますので、お問い合わせください。

閉会中の委員会活動

- ▽議会運営委員会
8月18日
・平成28年9月定例会の運営について
- ▽地域活性化対策検討特別委員会
8月8日
・今後協議を行うテーマの選定について
- ▽新庁舎建設検討特別委員会
7月19日
・庁舎建設に求められる「緊急性」について
- 8月18日
・視察について
- ・庁舎建設に求められる「緊急性」について
- ・庁舎建設に求められる「経済性」について
- ・中間報告書(案)について
- ・視察結果報告書について
- 9月21日
・庁舎建設に求められる「まちづくり」について
- ・3つの観点を踏まえた庁舎のあり方について
- 10月4日
・3つの観点を踏まえた庁舎のあり方について
- 10月25日
・最終報告(案)について

▽議会改革検討特別委員会

- 7月20日
・本特別委員会の検討課題について
- 8月8日
・予算・決算特別委員会の設置について
- ・会派のホームページ作成における政務活動費の支出について

▽広報広聴委員会

- 7月20日
・議会報告会の開催について
- 8月8日
・議会報告会の開催について
- 9月21日
・議会だより第45号の発行について
- 10月3日
・議会だより第45号の発行について
- 10月3日
・視察結果報告書について
- 10月3日
・議会報告会の開催について
- ・視察結果報告書について
- ▽図書室運営委員会
10月3日
・平成28年度購入図書申込みにについて

編集後記

平成28年10月29日に、5回目となります「議会報告会」を開催いたしました。ご来場をいただきました皆さまにおかれましては、お忙しい中、誠にありがとうございました。

なお、当日の資料や、皆さまからいただきましたご意見などにつきましては、準備が整いしだい、市議会ホームページで公開をさせていただきますので、もうしばらくお待ちください。

広報広聴委員会

- 委員長 矢島 章好
- 副委員長 石川 友和
- 委員 水沼日出夫
- 委員 斉藤 義則
- 委員 大野とし子
- 委員 古沢 耕作
- 委員 木村 圭一
- 委員 蛭間 靖造
- オプザーバー
議長 会田 幸一
副議長 栗原 信司

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111(代表)

内線3116